

自衛消防隊消火競技大会実施要綱

1 目 的

各事業所の自衛消防組織を強化させるとともに、火災時等における適切な通報と消火器及び簡易消火器具の的確な操作技術を身につけさせ、初期消火体制の万全を期することを目的とする。

2 日 時

令和4年9月15日（木）午前10時00分 から

3 会 場

会津若松市古川町9番21号 会津若松消防署城南分署訓練場

4 受付時間

午前9時15分から会場に集合したチームより随時受付を開始し、午前9時45分までとする。

5 競 技

(1) 消火器の部

ア 競技は各事業所より、1チーム2名の編成で、次により行う。

- 男子の部（年齢制限なし）
- 女子の部（年齢制限なし）
- 男女混合の部（年齢制限なし）

イ 出場選手は各事業所、男子の部、女子の部、男女混合の部の各部門1チームまでの出場とする。

ウ 消火器は水消火器を使用する。

（水消火器は大会事務局で準備する。）

エ 服 装

消火活動に適した服装とし、手袋（軍手）、保安帽（ヘルメット）等を必ず着用すること。※競技中はマスクを外して実施。

オ 実施要領

「消火器競技実施要領」による。なお、当該要領については、消防本部ホームページに掲載し、参加申し込みのあった事業所に別途郵送する。

カ 審査及び採点要領

各チームに持点300点を与え、減点法により採点してその残点の合計をチーム得点とする。

① タイム得点（持点200点）

ア タイムは2名で計測し、2名のタイムが異なる場合は、中間値とする。

イ 進行係の開始の警笛から、消火完了し、ゴール地点に1番員または2番員の遅い者が入るまでを計測し、所要時間1秒1点の割合で差し引いた残りの点数をチーム得点とする。

② 動作得点（持点100点）

別に定める「行動審査表」ごとに該当点を差し引いた残りの点数をチームの動作得点とする。

※転倒又はケガ等による競技続行不能については審査長判断とする。

③ 順位の決定

所要タイムと動作の得点を加算し、総得点の大なるものを優位とする。

(2) 消火バケツの部

ア 競技は各事業所より、1チーム3名の編成で、年齢制限なし、男女混合を可とする。なお、各事業所1チームまでの出場とする。

イ 服装

消火活動に適した服装とし、手袋（軍手）、保安帽（ヘルメット）等を必ず着用すること。※消火バケツ競技時、衣服、靴が濡れることが想定されるため、濡れてもよい格好とすること。

ウ 実施要領

「消火バケツ競技実施要領」による。なお、当該要領については、消防本部ホームページに掲載し、参加申し込みのあった事業所に別途郵送する。

エ 審査及び採点要領

各チームに持点250点を与え、減点法により採点してその残点の合計をチーム得点とする。

① タイム得点（持点200点）

ア タイムは2名で計測し、異なる場合は中間値とする。

イ 進行係の開始の警笛から、全ての標的を倒し、「消火完了」の呼称までを計測し、所要時間1秒1点の割合で差し引いた残りの点数をチームの得点とする。

ウ 制限時間については2分とし、2分経過したら競技終了とする。

② 動作得点（持点50点）

別に定める「行動審査表」ごとに該当点を差し引いた残りの点数をチームの動作得点とする。

※転倒又はケガ等による競技続行不能については審査長判断とする。

③ 順位の決定

所要タイムと動作の得点を加算し、総得点の大なるものを優位とする。

6 表彰

- ・消火器の部の各部門及び消火バケツの部ごとに優勝、準優勝、特別賞それぞれ1チームとする。
- ・参加者全員に参加賞を授与する。

7 その他

- ・消火器の部と消火バケツの部に重複して参加可能とする。
- ・準備運動は各自で実施することとする。
- ・新型コロナウイルス感染対策として、開会式、閉会式、競技見学中は一定距離（1m以上）保ち、競技中以外はマスク着用すること。